

編集にあたって	3
環境経営の推進	4
● 持続可能な社会の実現を目指し —最高環境管理統括者挨拶—	
● 環境憲章	
● 環境経営の基盤	
● Kawasaki地球環境ビジョン2050の策定	
2016年度の事業活動の総括	8
● 2016年度の結果のまとめ	
● 2016年度の事業活動のマテリアルバランス (環境負荷の全体像)	
低炭素社会の実現	11
第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標	
● 省エネ推進活動	
● 生産活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	
● サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> 排出量の試算	
● 物流過程におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	
● 再生可能エネルギーの利用	
● 製品貢献によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	
循環型社会の実現	16
第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標	
● 廃棄物排出量の削減	
● PCB処理の推進	

自然共生社会の実現	18
第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標	
● 化学物質の削減	
● ELV指令、RoHS指令、REACH規則などの 海外の法規制への対応	
● モーターサイクル&エンジンカンパニーにおける取り組み	
● 水の省資源化	
● 森林保全活動	
● 生物多様性の取り組み	
環境マネジメントシステムの確立	23
第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標	
● 川崎重工グループにおける環境管理体制	
● リスクマネジメント	
● 法規制の順守状況	
● 環境コミュニケーションの推進	
● TOPICS: ISO14001:2015版への移行を推進中	
環境ブランドの向上	28
第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標	
● Kawasakiグリーン製品促進活動	
● 外部への情報公開	
● 製品アセスメントの実施	
● 2017年 Kawasakiグリーン製品発表	
環境データ	38
● 川崎重工環境データ	
● 事業所別環境データ	
● 関連企業の環境データ	
温室効果ガス排出量に対する第三者検証	43

## 対象期間

2016年度(2016年4月1日~2017年3月31日)。ただし、一部期間外の活動を含んでいます。海外企業については拠点が置かれている地域によって会計年度や集計対象期間が異なります。

## 対象範囲

川崎重工株式会社

ただし、川崎重工グループとした際は環境管理対象の関連企業(P.25)を含む

発行:2017年9月発行

編集発行元:総務本部 地球環境部

発行責任者:地球環境部長

## 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

## 免責事項

本レポートは、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。